

地域包括支援センター採点一覧表

議事1(別紙1)

I 書類審査項目

審査項目	着眼点	配点	北1	平均
			泰斗	
1 設置趣旨、事業実施計画等		145	96	97
(1)設置の趣旨 ・運営方針	・センター設置の趣旨や目的を理解し、地域包括ケアの中核機関としての適切な運営方針や評価の仕組みが示されているか	30	22	21
(2)事業実施計画	・介護予防ケアマネジメント等業務の取組方針と目標、業務フロー及び評価手法が具体的に示されているか ・自立支援・重度化防止の理念を理解し、普及啓発と実践の具体的な方策が示されているか	10	6	7
	・総合相談支援(認知症対策を含む)及び権利擁護業務(虐待防止を含む)の取組方針と目標、業務フロー及び評価手法が具体的に示されているか	10	6	6
	・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の取組方針と目標、業務フロー及び評価手法が具体的に示されているか ・圏域内の介護支援専門員の資質向上に向け、効果的かつ具体的な支援を行うための工夫があるか	10	7	7
	・在宅高齢者福祉事業に関する支援業務の取組方針と目標、業務フロー及び評価手法が具体的に示されているか	10	6	6
	・生活支援コーディネーター業務の取組方針と目標、業務フロー及び評価手法が具体的に示されているか ・地域課題の把握や、課題解決へ向けた取り組みの手法が示されているか	10	6	7
(3)地域との連携体制 (多職種連携含む)	・希望する圏域の現状を把握しているか ・連携体制構築に係る意義・必要性を理解しているか ・連携体制構築のための具体的な方策・対応が示されており、効果的な内容か ・地域における高齢者の実態把握・見守り活動の具体的な課題認識と方策が示されているか	15	10	11
(4)運営体制	・運営体制、緊急時の対応及び事務処理体制が具体的に示され、その内容は的確で実現性が高いか	5	4	4
(5)中立性・公正性の確保の考え方・取り組み	・中立性・公正性の確保の必要性、手法が具体的に示され、その内容は的確で実現性が高いか	15	10	10
(6)個人情報保護の措置	・個人情報保護の意義及び必要性を理解し、個人情報保護のための適切な措置が示されているか	15	9	9
(7)相談体制・苦情対応	・積極的に地域へ赴き、地域ニーズの掘り起こしや相談を受ける体制を構築しているか ・苦情対応に関するマニュアルの整備及び職員への教育がなされているか	15	10	9

I 書類審査項目

審査項目		着眼点	配点	北1 泰斗	平均
2 職員の状況			40	25	32
(1)職員像	・職員に求める役割や職員像について具体的かつ的確に示しているか ・4人目以降の専門職の配置について、考え方やバランスは適切か(高齢者人口6千人以上の圏域のみ)		10	7	7
(2)育成の考え方	・職員の資質を向上させるための具体的な取組みが示されているか		10	6	6
(3)保健師及び経験のある看護師	・従事者としての資格は適切か ・専門職としての実務経験年数、センター職員としての実務経験年数を評価		5	2	5
(4)社会福祉士	・従事者としての資格は適切か ・専門職としての実務経験年数、センター職員としての実務経験年数を評価		5	4	5
(5)主任介護支援専門員	・従事者としての資格は適切か ・専門職としての実務経験年数、センター職員としての実務経験年数を評価		5	4	5
(6)生活支援コーディネーター	・コーディネーターとしての実務経験年数及び別途定める研修を受けているかを評価		5	2	5
3 センター設置の状況			25	23	24
(1)センターの設置方針	・センターは母体法人の関連施設とは別に設けているか		15	15	15
	・センターのレイアウトは来所者の動線やプライバシー、バリアフリーが確保されているか		10	8	9
4 法人の状況			10	6	7
(1)事業内容・財務 ・運営状況	・法人の事業内容や理念等は適切か		10	6	7
	・財務・運営状況は適切か ・経営の透明性の確保や経営の改善効率化は図られているか			0	0
書類審査合計			220	150	160
Ⅱ ヒアリング審査項目					0
	業務理解度	業務の目的及び条件、内容等を適切に理解しているか	15	11	12
	取組姿勢	業務に対する取組意欲が強く感じられるか	15	14	12
	プレゼンテーション能力	時間内にポイントを絞った説明ができているか	15	10	12
	対応力	コミュニケーション能力、マネジメント能力、ファシリテーション能力等を有しているか	10	7	7
ヒアリング審査合計			55	42	43
総合計（Ⅰ＋Ⅱ）			275	192	204